

製品名: SUMO2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85947**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:25-1:50
分子量	10.9kDa

抗原情報

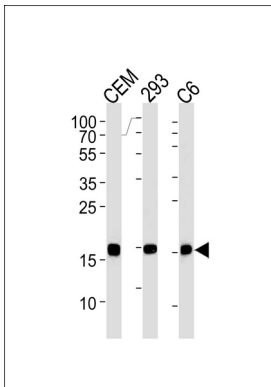
遺伝子名	SUMO2 Small ubiquitin-related modifier 2, SUMO-2, HSMT3, SMT3 homolog 2 {ECO:0000312 HGNC:HGNC:11125}, SUMO-3, Sentrin-2, Ubiquitin-like protein SMT3B, Smt3B, SUMO2 (HGNC:11125)
別名	
遺伝子 ID	6613.0
SwissProt ID	P61956
免疫原	このモノクローナル抗体を生成するために、精製された His タグ付き SUMO2 タンパク質が使用されました。

背景

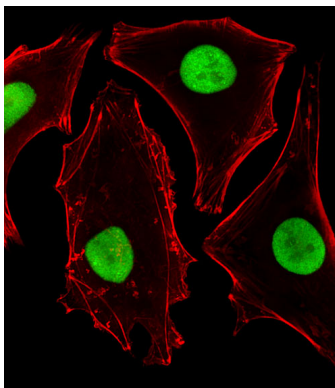
ユビキチン様タンパク質は、モノマーまたはリジン結合ポリマーとしてタンパク質に共有結合することができます。イソペプチド結合を介して基質に共有結合するには、E1 複合体 SAE1-SAE2 による事前活性化と E2 酵素 UBE2I への結合が必要ですが、PIAS1-4、RANBP2、CBX4 などの E3 リガーゼによって促進されます。タンパク質のリジン残基に対するこの翻訳後修飾は、核輸送、DNA 複製と修復、有糸分裂、シグナル伝達など、多くの細胞プロセスにおいて重要な役割を果たします。ポリマー SUMO2 鎖は、修飾されたタンパク質のプロテアソーム分解のシグナルとして機能するポリユビキチン化も受けます。

研究分野

画像データ



CEM、293、ラット C6 細胞株ライセート (35 μ g/レーン) における SUMO2 抗体 (C 末端) ウェスタンブロット分析。これは、SUMO2 抗体が SUMO2 タンパク質 (矢印) を検出したことを示しています。



SUMO2 抗体 (C 末端) (カタログ番号 AMM85947) で染色した HeLa 細胞の蛍光画像。AMM85947 は 1:25 希釈で染色した。二次抗体として、Alexa Fluor® 488 標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を使用した (緑色)。細胞質アクチンは、ファロイジン標識 Alexa Fluor® 555 (赤色) で対比染色した。